



ー防災研究のフロンティアー

ご案内

京都大学防災研究所は、1951年の創設以来、わが国や諸外国を襲う様々な自然災害を軽減することを目的に、「災害学理の追求と防災に関する総合的・実践的な研究の推進」をミッションとした研究と教育を展開しています。また、防災に関する我が国唯一の共同利用・共同研究拠点として、共同研究や研究集会を実施し、大型研究プロジェクト等の遂行に中核的役割を果たしています。

本公開講座は、防災研究所の最新の取り組みを分かりやすくお伝えするとともに、皆様との意見交換の大切な機会として開催し、第27回を迎えました。防災研究に関心をお持ちの方々のご参加を心よりお待ちしております。

【講座内容】

4月14日に熊本県で震度7を記録した地震は大きな被害をもたらし、今後の地震活動も予断を許さない状況が続いています。近年は火山の活発化や豪雨による水害などが大きな被害をもたらし、われわれの普段の安心・安全な生活を維持する上で、自然災害は依然として大きな脅威であることを思い起こさせています。こうした災害には今後どのように備えていけば良いでしょうか。将来の発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や都市域での内陸地震などに対して、災害を最小限に留め速やかに対応していくためには、何を解明していく必要があるのでしょうか。本公開講座では、防災研究のフロンティアで活躍する専門家が、最新の研究成果をもとに、こうした課題についてわかりやすく解説します。

【日時】 平成28年 6月 2日（木） 9時30分～16時30分

【インターネットでの受講】

○ インターネット生中継を行います。詳細は防災研究所HPをご覧ください。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

【会場での受講】

○ 場所： 砂防会館別館シェーンバッハ・サポー1階「淀・信濃」（東京都千代田区平河町2-7-5）
〈地下鉄永田町駅（有楽町線・半蔵門線・南北線）4番出口 徒歩1分〉

○ 入場料： 無料（申し込みは必要です）

○ 定員： 300名

○ 申込方法：

電子メールまたは往復ハガキにて、お名前、年齢、所属（勤務先または学校名、学年）を明記し、また、往復ハガキの場合は返信ハガキに宛名（住所、郵便番号、氏名）を記入の上、申し込んでください。

受付は先着順とし、返信メールまたはハガキにて入場の通知をします。

なお、定員を超えた場合は、入場をお断りすることがあります。

* 個人情報は、当公開講座以外の目的で使用することはありません。

○ 申 込 先 :

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学 宇治地区事務部研究協力課研究支援掛

電話 0774-38-3350

電子メール・アドレス kokai28@dpri.kyoto-u.ac.jp

○ 締 切 日 : 平成28年5月20日(金) 必着

○ 申込結果のご連絡: 平成28年5月27日(金)までに各申込者にご連絡いたします。もし、期日までに連絡が届かない場合は、上記申込先までお問い合わせください。

【プログラム】

9:30~ 9:35	開会の挨拶	所 長 寶 馨
9:35~10:05	2016年熊本地震についてー前震・本震・余震・誘発地震ー	教 授 飯尾 能久
10:10~11:10	大規模噴火とは何かー桜島とインドネシアの火山の事例ー ※ 講演題目が変更になりました。	准教授 中道 治久
11:15~12:15	居安思危:今すぐ甚大な水関連災害の対策を!	教 授 田中 茂信
12:15~13:15	昼休み	
13:15~14:15	大地震時の複合地盤災害の謎にせまる	教 授 井合 進
14:20~15:20	巨大災害に備えるための海を使った緊急支援物流のあり方	特定教授 小野 憲司
15:20~15:35	休憩	
15:35~16:25	総合討論	司会 教 授 五十嵐 晃
16:25~16:30	閉会の挨拶	教 授 牧 紀男



本講座は土木学会CPDプログラムとして認定されています。

会場へのアクセス

場所: 砂防会館別館シェーンバッハ・サボー (東京都千代田区平河町 2-7-5)

〈地下鉄永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口 徒歩1分〉

電話 (03) 3261-8386(代表)

